



SAP Ariba 

# 機能の概要

完了済みのリスクコントロールの再確認および有効性の決定の変更を行う機能

Peter Wohlsen, SAP Ariba

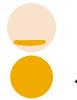
一般提供予定: 2019 年 11 月

CONFIDENTIAL

# 機能の概要

説明: 完了済みのリスクコントロールの再確認および有効性の決定の変更を行う機能

導入の難易度



ロータッチ/容易

対象エリア



グローバル

## 今までの課題

コントロールの確認タスクが完了すると、現在のエンゲージメント、またはコントロールが共有されているそのほかのエンゲージメント（コントロールが期限切れになっていない場合）では決定を変更できません。ただし、コントロールの意思決定者が、最初の決定後に有効性を変更しなければならない場合があります。

## SAP Ariba で問題解決

コントロールの意思決定者は、現在のエンゲージメント、またはコントロールを共有するほかのエンゲージメントでコントロールの確認を変更できます。変更はそれぞれログに記録され、履歴表に表示されます。この履歴表は [コントロールの確認] ページに、または決定がサービスの種類のコントロールで特定のサービスに対して行われた場合は、ポップアップウィンドウに表示されます。新しいコントロールの確認の決定は、コントロールまたはサービスとコントロールの組み合わせを含むすべてのエンゲージメントで共有されます。

## 主なメリット

お客様は、状況が変化した場合、新しい証拠が提示された場合、またはユーザーによるエラーが発生した場合に、より柔軟に以前のコントロール有効性の決定を変更できます。

コントロールの確認の履歴とコメントが取得および表示されて、そのコントロールを含むエンゲージメントに関するすべてのユーザーに、コンテキストと有益な情報が提供されます。

## 対象ソリューション

SAP Ariba Supplier Risk

## 関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的にオンになっており、すぐに使用できます。

## 前提条件と制限事項

コントロールベースのエンゲージメントリスクアセスメントプロジェクトを使用できるようにサイトが設定されている必要があります。

# 機能の概要

説明: 完了済みのリスクコントロールの再確認および有効性の決定の変更を行う機能

## 機能の詳細情報

エンゲージメント申請のコントロールを確認するために割り当てられた意思決定者グループのメンバは、コントロールの確認の有効性に関する決定を変更できます。確認タスクは、最初にコントロールの確認を必要としたエンゲージメント申請に、またはベンダまたはサービスの種類のコントロールの場合は、そのコントロールを共有する同じサプライヤとのエンゲージメントに含めることができます。サービスの種類のコントロールの確認は、サービスごとに個別に変更できます。また、すべてのコントロールの確認に関する決定と、確認者が追加したコメントを取得する履歴表も表示されます。

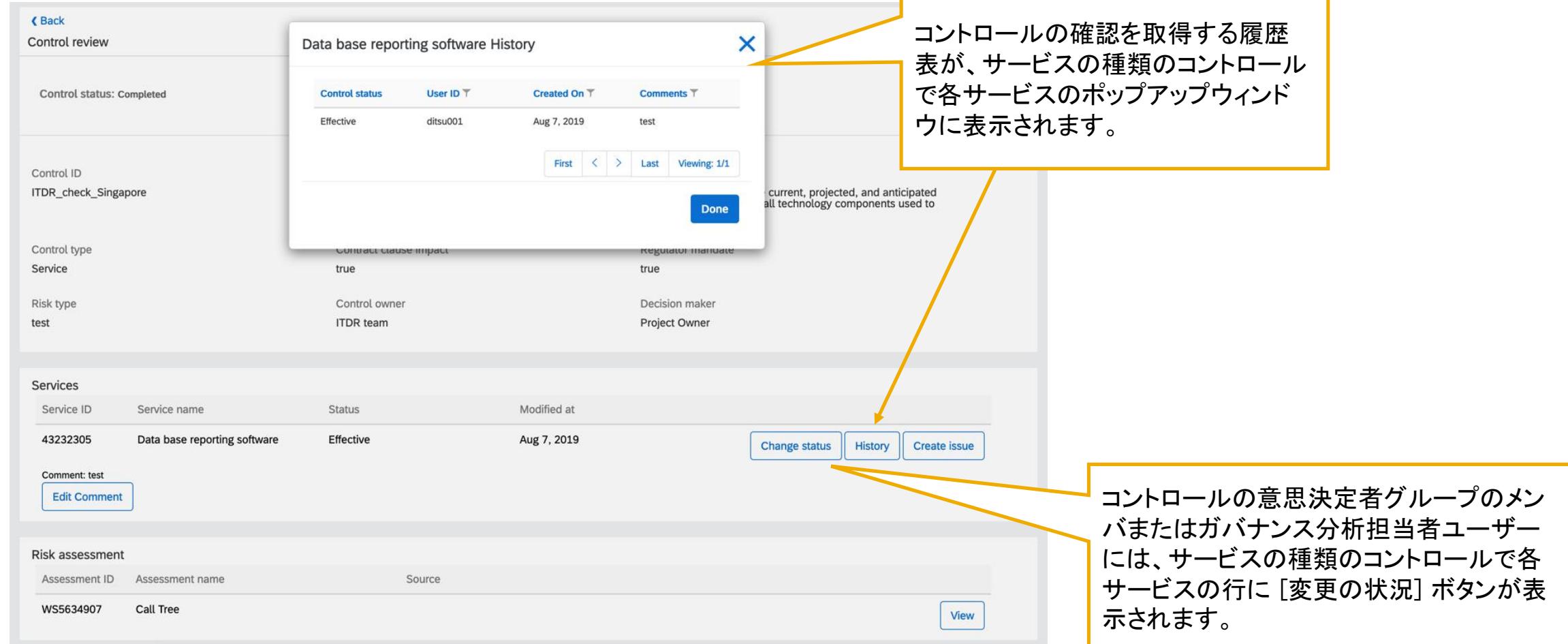
**[コントロールの確認]**  
ページの下部にある履歴表には、ベンダおよびエンゲージメントの種類のコントロールにおける、現在のコントロールに対するコントロールの確認についての決定が取得されます。

コントロールの意思決定者グループのメンバには、ベンダおよびエンゲージメントの種類のコントロール用に [状況の変更] ボタンが上部に表示されます。

# 機能の概要

説明: 完了済みのリスクコントロールの再確認および有効性の決定の変更を行う機能

## 機能の詳細情報



Control review

Control status: Completed

Control ID: ITDR\_check\_Singapore

Control type: Service

Risk type: test

Services

Service ID	Service name	Status	Modified at
43232305	Data base reporting software	Effective	Aug 7, 2019

Comment: test

Edit Comment

Risk assessment

Assessment ID	Assessment name	Source
WS5634907	Call Tree	

Done

current, projected, and anticipated all technology components used to

Contract clause impact: true

Regulator mandate: true

Control owner: ITDR team

Decision maker: Project Owner

Change status History Create issue

コントロールの確認を取得する履歴表が、サービスの種類のコントロールで各サービスのポップアップウィンドウに表示されます。

コントロールの意思決定者グループのメンバまたはガバナンス分析担当者ユーザーには、サービスの種類のコントロールで各サービスの行に[変更の状況]ボタンが表示されます。

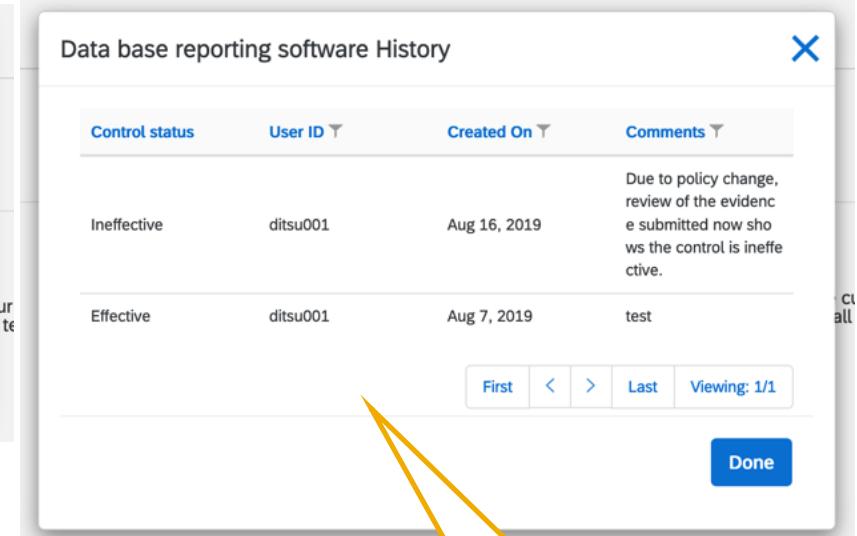
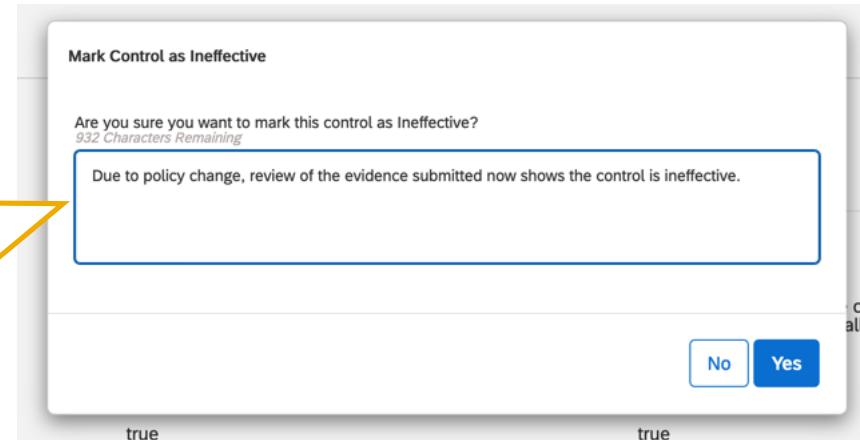
# 機能の概要

説明: 完了済みのリスクコントロールの再確認および有効性の決定の変更を行う機能

## 機能の詳細情報

[状況の変更] を選択すると、ユーザーは現在の確認に関する決定から状況を変更する必要があるかどうかを確認する前に、コメントを追加することができます。

[いいえ] を選択すると、コントロールは以前確認されたときの状況のままになります。



History			
Control status	User ID	Created On	Comments
Ineffective	ditsu001	Aug 16, 2019	The evidence is now determined to be insufficient.
Effective	ditsu001	Aug 7, 2019	test

履歴表に、新しい決定の詳細とコメントが取得されます。

ベンダおよびエンゲージメントの種類の場合